

横浜ゴムグループのCSR

CSRへの考え方

国内外の子会社を含む全横浜ゴムグループは、国連グローバル・コンパクトの10原則を行動指針としているほか、ISO26000の7つの中核主題を軸に、自社および社会への影響度を分析し「横浜ゴムグループが取り組む7つの重点課題」を策定し、PDCAを回しています。

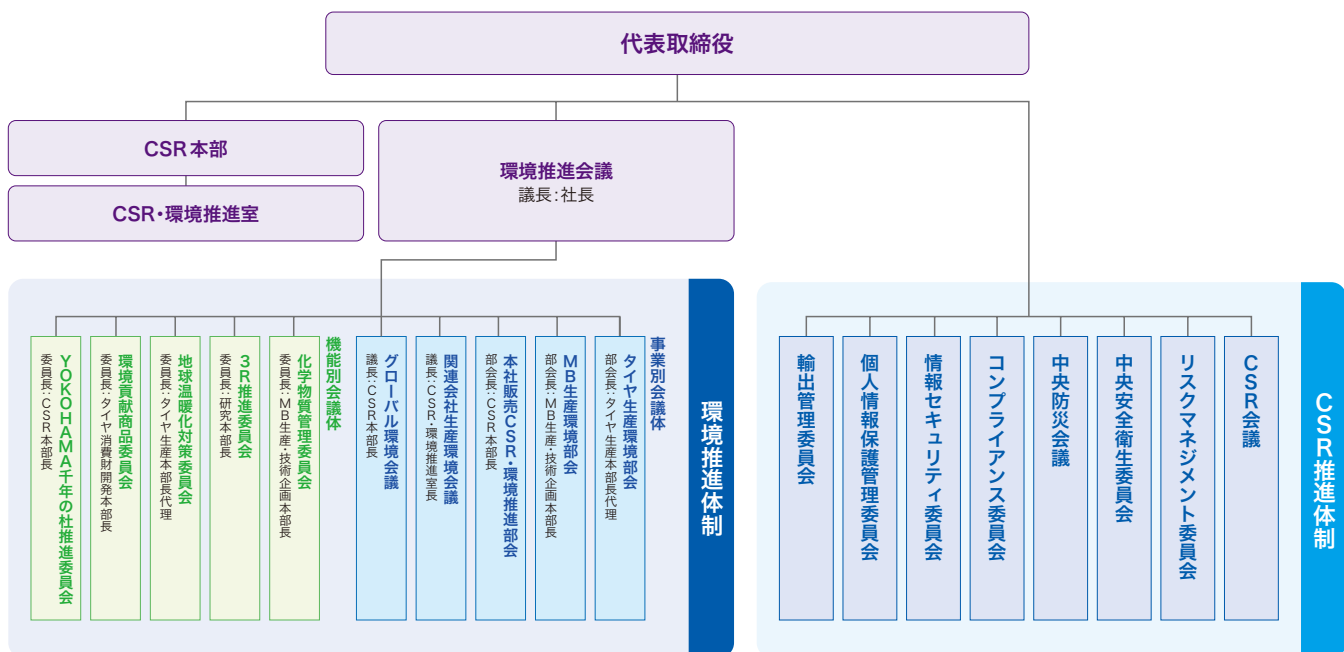
国連グローバル・コンパクトの10原則	ISO26000 7つの中核主題
<p>人権</p> <ul style="list-style-type: none"> 原則1 人権擁護の支持と尊重 原則2 人権侵害への非加担 <p>労働</p> <ul style="list-style-type: none"> 原則3 組合結成と団体交渉権の実効化 原則4 強制労働の排除 原則5 児童労働の実効的な排除 原則6 雇用と職業の差別撤廃 <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 原則7 環境問題の予防的アプローチ 原則8 環境に対する責任のイニシアティブ 原則9 環境にやさしい技術の開発と普及 	<ol style="list-style-type: none"> 1 組織統治 2 人権 3 労働慣行 4 環境 5 公正な事業慣行 6 消費者課題 7 コミュニティへの参画及びコミュニティの発展



CSR・環境推進体制

会長兼 CEO が議長を務める CSR 会議、社長が議長を務める環境推進会議をそれぞれ年に2回開催し、社会からゆるぎない信頼を得ている地球貢献企業になるため、当社グループが取り組むべきCSRの課題について立案・検討する体制を整えています。環境推進会議の下部組織として3つの部会、5

つの委員会、2つの会議を設け、当社における環境活動を推進しています。毎回のCSR会議、環境推進会議において、当社グループの7つの重点課題に沿ったCSR活動のパフォーマンスを評価し、次年度の改善に結び付けていきます。



■ CSR・環境推進体制図 (2013年4月1日)